

◆イメージ修正も

文書の衆院選で初当選した辻元清美氏。社民党議員としての初仕事は、党方針への反乱だった。

選挙後の首相指名選挙で、社民党は橋本竜太郎自

民党総裁への投票を決めていたが辻元氏は迷わず土井たか子」と書いた。「土減した社民党にとって一九

にもカラオケにもほしいといふと出かけていく。

「つまいものを食べられるのなら行きますよ」と、辻元氏本人はあつげらんとした表情だ。

◆距離どう保つか

自民党との距離をどう保つか。衆院で十五議席に激

97政界 今年 いっしょ

◆5◆

井さんと書いたら何か損しますの？」と幹部に真顔で詰り寄せた。

あつという間に「扱いにくい頑固な土井側近」というイメージが、連立を組む自民党内にも広がった。

が、自民党幹部の間では、次第にそのイメージが修正されつつある。

加藤紘一幹事長や山崎拓政調会長の誘いで焼き肉

書いたものも三人。仮に三人の主張通り、社

九七年の課題は、この一点に尽きる。近づき過ぎれば「らしさ」は失われ、連立政権を出れば「ただの小党」になってしまいかねない。

そのかぎを握るといわれるのが辻元、保坂展人、中川智子の市民派・新人三氏だ。首相指名で「土井」と

派市民利用する自民

社民党衆院議員

辻元 清美氏



民党の十五人全員が土井氏に投票していたら、橋本票は過半数に「票足りない二百五十票だった。今後、内閣不信任案でも出た場合、三人の動き次第では自民幹部にとつてゾツとするよう

は辻元氏とて同じ。むしろ誘つ側よりもっと策士、との見方さえある。「政策実現のためには、エネルギーの八割を根回しに費やすべきだと思つ」

徹底した是々非々路線で、せは一発で目的を達成でき知られる「土井派議員」のることも知った。

新人議員には遠い存在のはずである自民党の大幹部から宴席の声がかかるとも、こんな事情による。

「野党で相手にされないよりもましやわ」旧社会党時代からいわれた「市民党」への脱皮を可能にするのは、自分たちの働き以外ないとの自負も。土井党首がいつ「市民との絆(きずな)」と、日々々体感する「自民との絆」。連立政権と社民党の命運を握る「市民派議員」にとり、「永田町政治」の懐に飛び込みながらも、埋没せず目標の政策課題を実現するだけの、したたかさ問われない日々が続く。

◆根回しといわず

カラオケにも喜んで付き合つが、「下心」があるの

客船を各国に接岸するに

「口から「根回し」という言葉が飛び出す。

ある日、自民党本部九階

その素地は、十数年前に

ある食堂で定食を食べて

自ら設立した民間の国際交

いた辻元氏を見て、自民党

活動にある。

議員が党本部に来て、ましてやメシを食うなんて